

LOOK!

12月

白のアクセサリーと オレンジのカクテルドレス

福富芳美

明石女子短大・神戸ドレスメーカー女学院々長
大丸顧問デザイナー

協力

ベニー毛皮店〈ホワイトミンクストール〉

御木本真珠店〈パールイヤリング〉

カメラ

赤松慶三郎

教会の真夜中のミサ。静かな神戸のクリスマスが近づいてきました。
またクリスマスパーティーも盛んになる時です。
最近、長いイブニングを着るということも少なく、クリスマスのカクテルドレスは少し肩を出すというほかにはあまりふだんのデザインとの違いがなくなっています。
そこで、カラーや、材質で華やかなムードを出す必要があります。
12月のカクテルドレスは、きれいなオレンジ色のクレープ地のドレスです。細い肩紐と胸もとのボアが可愛い清純なデザイン。
和装のお振袖と違って、クレープでもシルクのような高価なものでなくても、洋服では十分化粧地、華やかな楽しいカクテルドレスのおしゃれが出来ます。
白のミンクストール、帽子・真珠・手袋・靴などが、いっそう聖夜にふさわしい清楚さをそえています。



KOBE



*12月のマドモアゼルは岡本淑子さん(21才)
山手女子短大英文科を卒業して今春から
神戸ドレスメーカー女学院で洋裁の勉強中。
スラリと伸びやかな肢体の岡本さんは
理知的な感じを秘めた清純な神戸っ子。
スポーツはテニス、音楽は今流行の
グループサウンズが好きだというしとやかな中
に近代的な感覚をもつマドモアゼルです。

noel de LOIE

クリスマスの夢



美しさを創るオートクチュール

アスター ニュートン

コーベトアロード TEL 33-1818 オーサカハンシン TEL 361-1201



★本格派の人々に愛される神戸の靴です

ヨシオカ

大丸前 TEL <33> 5190・9763
 東急百貨店日本橋店 1階 <211>0511
 東急百貨店本店 TEL <462>3436

DECEMBER

*

金 1
土 2
① 3 17
月 4 18
火 5 19
水 6 20
木 7 21
金 8 22
土 9 23
① 10 24
月 11 25
火 12 26
水 13 27
木 14 28
金 15 29
土 16 30
① 31

*エギンチック・コウヘン
バーバラ・マターン嬢「何ぞ」は
カナディアン・学生さん
K.R. & A.C.のボクサー・クラブの選手
で活躍する反面、読書、音楽が趣味
という、至る中にもレディの落着
きを持つたお嬢さんです。





トランスグローバル

本社★神戸(22)2603

営業所★東京・名古屋



CHASSE

シヤス

ELDONIAN

乗馬用品専用ショールーム TEL (22)8161 (内線331)

太津TANZU

アクセサリと服飾の店 神戸市生田区三宮本通

TEL (39)4780

トランスグローバルショールーム

ラノ入りワンピース・ムム
モノアユルト・セーリー
オランダデ・ワトコビカフ
△音屋シヤロンズにて△

神戸国際会館
1階(内線331)
TEL (22)8161



神戸つ子ジャズ野郎

モダンジャズ響宴

いままでは、神戸のジャズは不毛だといわれてきたが、さる10月22日夜神戸・三宮のナイヤガラ六階で時ならぬ、ジャズの響宴がくりひろげられた。このほど東京で開かれたアマチュアのパンドコンクールで日本一に決定した宮本直介、後藤剛、武村信吾、佐坂文彦の四人によるザ・ブレイング・フォーを加えて、テレビでおなじみのH.P.M.トリオ、小曾根実、奥村英夫、西野邦夫をはじめ福家菊雄とファイブフラット。そしてシンガーに原田紀子、わざわざ大阪からかけつけた鍋島直純など神戸では珍しい顔が揃った。



演奏も最高潮、陶酔するジャズ野郎



はずむようなピアノは思わず心を浮きたたせる

品のいい、軽快なタッチは武村信吾の本領だ。



強引なドラミングに特色をみせる佐坂文彦。



豪快で熱っぽい宮本直介のベースソロは定評通りだった。



スリリングなテナーサクソスを聴かせる後藤 剛。



大阪からかけつけて参加したビブラフォンの鍋島直弘。(右上)
 ギターはヒゲの人気者、奥村英夫。(左下)
 ハモンドで楽しむ小曾根実。(左上)
 地味だが、聴かせる西野邦夫のドラミング。(右下)
 シンガーの原田紀子をまじえて演奏する福家菊雄とファイブフラット。(中上)
 あいさつする主催者の武田健一。(中下)



LADIES SHOP
Beniya

パーティのシーズン!!!

明かるいブルーに
キラキラと輝くラメの入った
ゴージャスなドレス。
あなたの甘い夢を実現する
ロマンチックなシルエットです。

ペット紹介

イスにおすわりした、かわいい二匹のワンちゃん
は麻生ジョージさん宅のココ君とアビ嬢。
ブラッシングをして、お散歩するのが大好きという
オシャレさんです。

婦人服飾

ベニヤ

三宮センター街
さんちか (レディスタウン)
東京・東急百貨店

39 : 5529
(サンキューライフ)
39 : 1204

211 : 0511

Merry
Christmas

プレゼントにご贈答に
世界の品々をどうぞ！



元町2丁目
㊤4707~8

★写真はオリエンタルホテルで
開かれたサノへの展示会場。

Kitamura Pearls

Merry Christmas

* 世界の人々に愛されるキタムラパール *

北村真珠株式会社

神戸：元町店 TEL <33> 0072
東京：スキヤ橋店 TEL <571> 8032

★あなたの貴金属のクリーニングを超音波洗浄機で無料サービスいたします。気軽にお立寄り下さい。



クリスマスの 夜を楽しく



KITANO CLUB

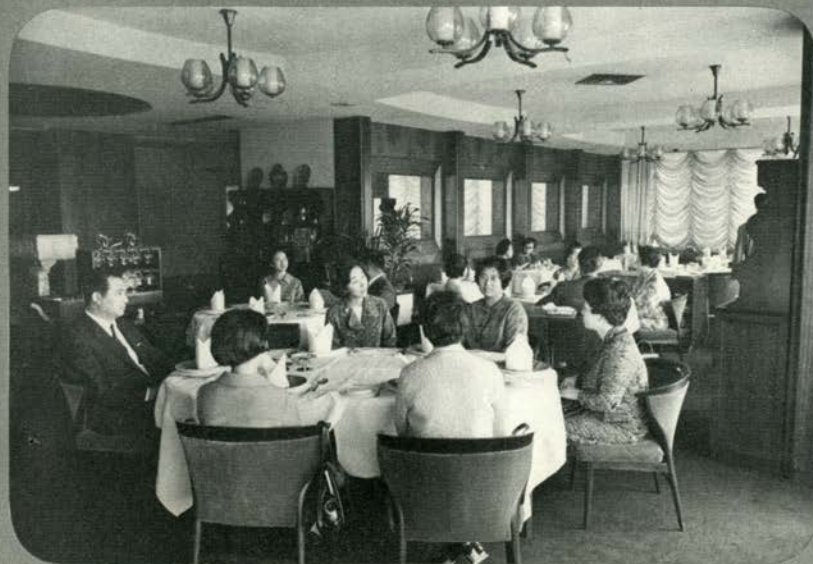
Restaurant

CORAL KITANO

北野町 Tel. 23-2251

クリスマスパーティーごあんない
期 間——12月22日(金)～26日(火)まで
コラルキタノ〈ビュッフェスタイル〉 ¥ 3,500
キタノクラブ〈シャンペン・カクテル・ハイボール
またはビール・クリスマスオードブル・

おみやげつき ¥ 5,000
ブランドゥブラン〈ビュッフェスタイル〉 ¥ 3,500



KITANO CLUB JUNIOR

RESTAURANT

Blanc de Blanc

ブラン ドゥ ブラン

Tel. 32-1455 京町77-1 神栄ビル

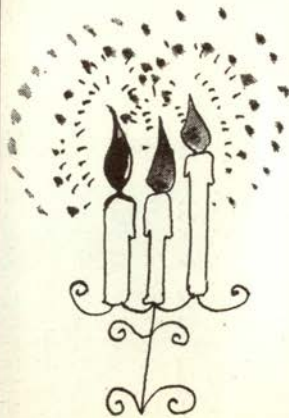


★クリスマス音楽特集 ①

神戸っ子ジャズ野郎にきく



モダンジャズ あれこれ



ニューヨークの下町では深夜、

舞台を終えたミュージシャンたちは楽器を手に手に、ある酒場集まる。酒場ではみんな、その日あったことを話し合い、音楽を語っている。やおら二、三人の男たちが立ちあがると、互いに声をかけあい持っていた楽器で演奏をはじめ。あるものはサクソスを、あるものはベースを、あるものはトロンボーンをという具合である。たちまち熱っぽい雰囲気酒場をすっぽりと包んでしまう。即興的なモダンジャズである。

ミュージシャンたちの演奏は果てしなく続き、夜が白みかけるころになると、一人、また一人と熱っぽい酒場の内とはちがって、冷えきった街角に消えていく。

モダンジャズの本場、ニューヨークではこんな風景が毎夜のように見られるそうだ。ミュージシャンたちはこれを「ジャムセッション」と呼ぶ。

ジャズは一九〇〇年前後に、アメリカ・ルイジアナ州のニューオリンズに黒人によって生まれた音楽である。以来、ジャズは大衆に密着した音楽として現代にまで親しまれているものである。

さる十月二十二日、神戸でも三宮にあるナイヤガラ六階の中華料理店「別館牡丹園」で、神戸を中心としたジャズメンが集まって、夜のふけるまでジャズ演奏を楽しんだ。

主催者は神戸で有名なジャズ狂と評判の武田健一さん。武田さんは鉄板料理と喫茶店経営のかたわら、二年前には「ジャズコーナー」をつくるなどその熱の入れ方には定評のある人である。

集まったミュージシャンは大抵読売テレビ11PMでおなじみの11PMトリオの小曾根実（ハモンドオルガン）奥村英夫（ギター）西

野邦夫（ドラム）。福家菊雄とファイブフラットの面々。大阪からかけつけたビブラフォンの名手鍋島直親、シンガーの原田紀子、そして、さる九月二十四日東京で開かれた第一回全国ライト・ミュージック・コンテストのジャズ部門で関西四国地区代表として出場し最優秀グランプリ賞を獲得、見事日本一になった宮本直介クワルテットが顔を揃えた。

はじめは11PMトリオに加えて宮本直介クワルテットの合同でボサノバのリズムが会場を包む。ついで、宮本直介のベースソロ、後藤剛のサクソソロと、各プレイヤーは実に楽しそう。途中からかけつけた鍋島直親もすばらしいビブラフォンのテクニクをみせる。まさにこうふんのるつぽである。演奏する方も聴かせることよりも演奏することに陶醉している。ジャズ用語でジャズリ、ジャ

ゐるという状態なのだろう。ひたいに汗をにじませての熱演は心を打つ姿である。しかし、聴く方は案外冷静である。

夜もふけて最高潮を少しすぎたから、演奏を終えた小曾根実さんにインタビュウをしてみた。

——はじめてのジャムセツションということでしたが……。

小曾根 第一回とあって趣旨が深くいきわたっていない感じですね。ジャムセツションの意義は、自分たちが楽しむことであって聴く方も、もっとジャズの好きな人が集まるべきでしょう。今夜は少しパーティになった気配がありますね。

大阪からわざわざかけつめたという鍋島さんが席についていたので話を伺ってみました。

鍋島 神戸のジャズメンは実力があるし、その数も豊富だ。もっと機会と場所があればいいのと思う。今夜の場合、ミュージシャンが少なかつたのがもうひとつというところですね

——神戸のジャズファンは言うに及ばず、神戸っ子全体にとっても喜ばしいニュースである宮本直介クワルテットのメンメンにインタビュウを試みる。

問 まず日本一になったご感想を

聞かせてください。

宮本 やりたいことをやるという本当のジャズを演奏して日本一になったことで充実感を味わっています。

後藤 ぼくらがコンクールに出ようとしたのは六月ごろの週刊誌をみたときだったんです。優勝すれば世界一周ができると聞いて、はじめからひとつやったらかという気持でした。一〇〇%の自信があつて出場したのだが、済んだいまはほっとした感じですよ。

武村 後藤さんがいうように準決勝までは自信があつたのですが、決勝戦にきて、優勝まであと一歩というところですがにがががががしてね。ヒヤヒヤしました。審査員にジャズに詳しい人が多かったのも幸いしたと思うのですが、最後の最後までラッキーな面が多かつた感じですよ。

佐坂 決勝では、おそらくぼくだけがヒヤヒヤしました。あと一勝でつまづいたらいかんという気持で実力の半分も出し切れなかつたような気がします。でもなによりも、最優秀バンドが、ジャズ部門から出たということが一番嬉しいことです。

問 みなさんのジャズ歴は？

宮本 大学（関学）に入つたときからですから、もう十二、三年になります。その頃からずつとべー

スですよ。

後藤 中学三年のときにクラリネットを吹いていました。サクソスは大学（慶応）三年のときからです。

武村 七つのときからクラシックピアノを弾いていたのですが、大学（慶応）二年のとき、ジャズピアノの魅力にとりつかれて転向しました。

佐坂 宮本さんと大体同じくらいになるかな。十七才のときからドラムをたたいていますから、十年ぐらいです。

問 みなさんの「ザ・ブレイニング・フォア」という名のグループが出来たのはいつごろ、どうしてできたのですか？

宮本 ぼくが大学を卒業して上京ジョーシ川口のバンドにいたことがあるのですが、そのとき同郷ということで後藤君と知り合い同じアパートに住んでいたのです。それで二人は関西へ帰ったら一緒にやろうと固い約束をしたわけですが関西に帰つたのが昭和三十七年ですから、帰つてすぐ後藤君の後輩の武村君を誘つて、グループができたのは夏ごろでした。だからはじめは三人のグループで、演奏するときには、プロのドラマーを呼んできてたのんでたんです。その後、佐坂君が加わり、四人になったのは今から二年前です。

問 曲のアレンジはどなたがなさるのですか？

後藤 大部分は武村君がします。

問 先輩のミュージシャンのなかでお手になさる方はおられますか？

宮本 手本ということではないですが、マイルス・デイビスのリズムセクションは好きです。

後藤 別にないですね。

武村 ビル・エバンズ。

佐坂 日本人では渡辺貞夫さんと秋吉敏子さんの音楽に魅力を感じます。外国ではソニー・ローリン、ビート・アロツカ、ドイ・ヘインズです。

問 神戸のジャズについてどうお感じですか？

宮本 神戸の文化を通じていえることですが、文化が生れても、地理的に大阪に近いことから大きなハンディキャップを感じます。

佐坂 神戸はジャズの育つ空気があるのだからけれど、PRが足りないのちがいますか。大阪でやるときには大勢が集まりますからね。

後藤 いつでもジャズが開けるといふ場所がほしいですね。

武村 二年程前にジャズコーナーができましたが、すぐなくなりましたね。これは、いくら楽器を置いて、誰でも演奏してくださいと呼びかけても「タダじゃいやだ」

という気がミュージシャンの方にあったからです。一般の人たちも上手くないからという遠慮を持ちすぎるから、ジャズ熱がいつころ高まらなかつたと思うのです。

問 プロとアマのちがいということはあるですか？

宮本 この音楽に関してはプロもアマもないのです。ぼくたちも音楽に対する純粋さではプロにも負けないつもりです。アマチュアの域を出ないということでは、ぼくたちはやりませんね。だからプロとアマというように区別はしてほしくないです。むしろ、プロの人に対して、もっとプロに徹してほしいと願います。

後藤 また別の面でいうと、現在は、学生でも金をとる状態ですからね。どこからどこまでがプロかアマかということはないです。金をとるための演奏をするのがプロですから、先日大阪サンケイホールで開かれたぼくたちのコンサートは、プロの頭上でカネを鳴らしたことになるですね。

問 みなさんのご趣味は？

宮本 みんな職業を持っていますから、ドライブやゴルフをする機会が多いですが、なんといってもジャズですよ。

後藤・武村・佐坂 同感！

問 最後に、日本一になったごほうびに来年一月、世界一周に旅立

たれるわけですが、何を掴みたいと思いますか……。

宮本 来年一月の中旬から二月の中旬までの予定で、ヨーロッパからアメリカ、ハワイを回るので、アメリカにウエイトを置いてみてるつもりです。

そして、人間的に視野が広がることがあれば人間としての成長を試みてみたい。

後藤 よその国の音楽をたくさん聞いて、ぼくらも楽器を持っていきたいと思っていますから、ぼくらもむこうで演奏して、音楽の交流をしたいですね。

武村 ぼくは特に、クラシック音楽を聴きたい。

佐坂 レストランの経営をしている関係上、外国の料理を食べるいて、参考にしたし、クラシックも吸収してみたい。それから、大交響楽団の演奏も機会があれば聴きに行きたいと考えています。

問 どうもありがとうございます。た。お元気でやっていらっしゃい。

熱の入った演奏は夜の明けるまで続いた！。

神戸っ子ジャズメンの将来に期待しよう。

神戸っ子ジャズメンがんばれノ
神戸っ子がんばれノ



★世界のトップシューズ
スイスのBALLYをはこう
〈バリー〉



★★★★★★
靴と舶来雑貨
★



靴と舶来雑貨 神戸ア・ロード TEL 391781(代)
婦人靴 三宮地下街(さんちカレディスタウン)
大阪阪神百貨店 TEL 361-1201 京都丸物百貨店 TEL 391111